

## 正しい点眼法について 第二回

今回のフジタガンカニュースは前回に引き続き点眼方法についての解説です。先月号をご希望の方は、受付までお声を掛けて頂くようお願い致します。先月号の繰り返しになりますが、自分で目薬をつける場合に気を付けるポイントは

### 1)確実に薬が白目の部分に入るようにする事

### 2)まつ毛もしくは白目には点眼瓶の先が触らないようにする事

の二点です。では、二つ目の点眼方法についての解説です。

#### B-アカンペー法(下眼瞼牽引法)

- ① 利き手で点眼容器を持ちます。反対側の手は人差し指を立てて、他の指は握るようにします(ちなみに私は右利きです)
- ② 人差し指で下まぶたを下げるようにします。
- ③ しっかり上(天井)を見るように顔を上げ、点眼薬を持った利き手を手の甲の上に乗せて、点眼をします。慣れるまでは、点眼瓶の先の位置が不安定な感じがするかもしれませんが、こうすることで点眼瓶の先がまつ毛や目に直接接触れることを防ぐことができます。

先月号で紹介した「A-ゲンコツ法」は指先に力が入りにくい御高齢の患者さんに良い方法です。「B-アカンペー法」は最も一般的な点眼方法で、指先にしっかり力が入られる患者さんにお勧めです。



#### C-点眼補助器具「らくらく点眼」を利用する方法

右ページ上の写真は「らくらく点眼」の使用法解説の文面です。「点眼瓶の先が目近づきすぎない」という事が最大の利点ですが、首を十分に曲げて顔を上げて天井を見るようにしなければなりません。若い方なら簡単ですが、年配の方ではこの姿勢を保つことが困難な場合もあると存じます。そういう場合には、思い切って仰向けに横になってしまおうと良いです。点眼回数が多いと面倒ではありますが、安全確実に点眼が出来るというメリットは見逃せませんよね。右ページ下

### らくらく点眼III



の写真を参照して下さい。ちなみに左の写真は「らくらく点眼 3」下の写真は「初期型のらくらく点眼」です。(※左写真は川本産業HPより転載。また初期型らくらく点眼は現在ニューらくらく点眼という商品にバージョンアップしておりますが、基本の構造は全く同じです。)  
「3」は点眼瓶の装着がやや複雑ですがレバーを握れば点眼できますので、指先に力の入りにくい方でも容易に点眼できます。「ニュー」もしくは「初期型」の場合は単純な構造となっております、好みに合わせてお選び頂くと良いでしょう。

A、Bともに大事な事は、下まぶたをしっかりと下げて、滴下される点眼液が落ちていくスペースを広げてあげることです。これが出来ないと点眼液が目の周囲にこぼれてしまい、点眼効果は半減もしくは全く期待できないこともあるでしょう。Cに比較してAやBでは①下まぶたをしっかりと下げて眼表面に確実に点眼でき②本人も介助者も点眼が入ったことを確認しやすいという利点があります。頑張ってみる価値はありますが、Cも上手に利用するのであれば大変良い方法です。好みに合わせて利用するようにして下さい。

今回のフジタガンカニュースは以上です。次回はもう一回、点眼方法のよもやま話を掲載の予定です。お楽しみに-(´\_`)ゞ



### ニューらくらく点眼



### 今月のお知らせ

先月お知らせした通り、現在当院でのメガネ関連の業務についてはオグラメガネさんをお願いすることになっております。オグラメガネさんの店舗はJR八王子駅北口・京王駅通りJTB前です。配布用の地図もご用意させて頂いております。また、ワンデータイプのソフトコンタクトレンズの受注販売も可能となりました。詳細は受付までお尋ね下さい。



携帯サイト用QRコード

<http://www.fujita-ganka.com>